

令和3年7月19日

市政記者クラブ 様

名古屋市美術館 担当：保崎、竹内  
電話：212-0003

## 美術館特別展「フランソワ・ポンポン展」の開催について

このたび、みだしの特別展を下記のとおり開催しますので、ぜひご周知いただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 概要

フランソワ・ポンポンは、オルセー美術館にある代表作品《シロクマ》で知られるフランスの動物彫刻の第一人者であり、近年、日本でも人気が高まっています。そのモダンで愛らしい動物彫刻誕生の過程や、名声確立の歴史的背景を、日本及びフランス各地の美術館から集まる初期から晩年までの作品約90点を通じて辿ります。

#### 2 会期

令和3年9月18日(土)～11月14日(日) (50日間/夜間開館8日)

#### 3 主催

名古屋市美術館、中京テレビ放送

#### 4 観覧料

一般:1,600円(1,400円)、高大生:1,000円(800円)、中学生以下:無料  
( )内は前売料金

#### 5 展示される主な作品

- (1) 《コゼット》1888年 ブロンズ 群馬県立館林美術館蔵
- (2) 《ペリカン》1926年 ブロンズ デイジョン美術館蔵(国立自然史博物館寄託)
- (3) 《ワシミズク》1927-1930年 ブロンズ オルセー美術館蔵
- (4) 《シロクマ》1923-1933年 大理石 群馬県立館林美術館蔵
- (5) 《ヒグマ》1918-1926年 ブロンズ 群馬県立館林美術館蔵

#### 6 本展の特長・見どころ

- (1) まとまったポンポンコレクションをもつ群馬県立館林美術館が、2008年に特集展示を開催したものの、海外からも作品を借用して開催する本格的な回顧展はこれが日本初。
- (2) 様々な種類の動物彫刻を概観することで、ポンポンの優れた観察力と愛情あるまなざしがもたらした造形の魅力を発見。
- (3) 動物彫刻の歴史を塗り替えるモダンな造形が誕生した背景や時代性について、日本の工芸品の影響などにも触れつつ、多角的な視点で迫ります。